

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和3年(2021)6月10日

No. 162

発行 高津啓洋

草刈から始まるレダの一日



パラグアイ川の朝日

パラグアイ川に昇る太陽は、全地を照らして、恵みをもたらして

今年はもっと水位が下がるのではと言われていました。

くれます。レダの地域は雨の少ないところで、年間の雨量が700ミリ以下です。

今年は上流地域のボリビアなどの雨季が短く、川の水位は下がっているそうです。昨年にも水位が低く、大きなタンカーは浅瀬をよけながら大変に苦労して、レダの前を上り下りしていました。予報では



アセロラ畑の草刈り

皆様からお預かりしている木々は、大切に育てられています。また人気のレダ産のアセロラもたくさん植えられています。今は秋のために、落葉の季節です。それに合わせて草刈りも進められています。草刈を怠ると蛇が隠れたり、アリの巣ができます。その分、管理が大変になるからです。

今は、季節的にブーゲンビ

豊かな大地に代わるレダ

リアが花を咲かせ彩を添えてくれます。実りの季節で、バンレイシ(釈迦頭)が実り、モリンガの種がたくさんなっています。

モリンガは、種も、葉もすべてにおいて栄養価や、医薬品としてサプリメント効果があるといわれているものです。

広い植林地に、草刈と水やりを終えて、豊かな大地にレダの夕日



モリンガの幹



モリンガの花

を迎えます。伊達記)



バンレイシの実



レダの夕日